

大正中学校 校長 小西です。
いつもありがとうございます。

第3回WAYプロジェクト(WAYプロ)を、7月19日(火)に本校で開催しました。開会にあたって校長から、1年生の野外実習・2年生の海洋実習・3年生の修学旅行を実施したことや、新型コロナウイルス感染状況を確認し、基本的な感染症対策を励行しながら教育活動を進めていることを伝えました。

今回のWAYプロは、1学期中に実施した道徳の授業について、授業者から報告を聞いての質疑応答や使用した指導案・教材も含めて討議しました。教材は、「良好な関係を目指して『あいさつ』」という言葉が題材のお話でした。お話しの中に登場するA君の「親しい人にだけあいさつをしています」の発言に対して「共感できる」「共感できない」どちらの意見もクラスにありました。そのような中で「あいさつをするのは人との関わりを深めるため」という発言をした生徒がおり、これは、その生徒の「本音?」「体裁?」、それとも発問に対する「期待通りの回答?」という質問が授業者にありました。授業者からは「本音です」という返しがありました。生徒たちにとっても「なぜ、あいさつをするのか?」ということを考える機会となったようです。WAYプロ参加者からも、あいさつとは「人と向き合うこと」「相手を知るきっかけであり、そこから広がる世界観やつながりがある」などといった意見が出されました。ただ、授業者が指導案の中で本時の学習課題とした「なぜ、あいさつをするのだろう」ということは、ねらいとした「あいさつや礼儀の意義を考えることを通して、時と場に応じて主体的に適切な言葉遣いや行動をとろうとする態度を育てる」ことに「つながっていない」「向かっていない」といった意見が出されました。その上で、日々の教育活動で見え隠れする生徒の現状や現実をより把握・理解し、指導案作成に活かしていくことの大切さを参加者で共有しました。

今後も道徳の授業づくりについて検討を重ね、実際の授業は録画もしながら、それも活用して、WAYプロの研究討議を進めていきます。

次回は、新型コロナウイルス感染状況を確認しながら、9月6日(火)に開催する予定です。

